

第 3 1 8 号

# めぐみ厚生センター恵友会 会 報

## めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0 9 5 2 - 2 5 - 2 7 9 7
めぐみ園	0 9 5 2 - 3 4 - 7 7 2 2
富士学園	0 9 5 2 - 6 3 - 0 1 0 7
ウイズ富士	0 9 5 2 - 5 1 - 0 0 6 3

発行人 副島 勉

郵便振替 事務局 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 0 1 7 7 0 - 6 - 1 2 3 8 9  
〒 8 4 0 - 2 2 2 3 佐賀市東与賀町大字飯盛 1 5 8 4 (めぐみ園内) : tel 0 9 5 2 - 3 4 - 7 7 2 2

### めぐみ園の茶道教室



中島 孝子



私がめぐみ園で茶道教室を始めてちょうど10年が過ぎました。

2008年9月に稽古に来たときから現在まで、いつも10人の利用者さんと一緒に稽古してきました。よ

くぞ10年も続いてくれているものと感じます。1回が1時間、月に2回、2時間だけの稽古ですが、よほどのことがない限り、いつも全員が参加してくれます。どうしてお茶に来るの?と聞くと、お菓子が食べられてお茶が美味しいからと笑って答えてくれますが、この光景、どこかで見なすと感じたのです。

それは、私がお茶を始めたきっかけと全く一緒でした。中学1年生の時に学校に茶道部があり、美味しそうなお菓子が食べられて、お茶も飲めるなんて、いいな!と思い、軽い気持ちで茶道を始めたのが私でした。茶道クラブに入って4ヶ月位で本格的に茶道の先生宅で稽古が始めることになり、いつの間にか茶道に熱中してしまいました。何がそんなに良かったのかを考えてみるのですが、未だによく分かりません。ただ知らないことの連続で、覚えることがとても楽しかったのです。茶道のお点前は細かく言うと何百種類とあり、手順を全て覚えるのは至難の業ですが、その頃は先生に指導して頂く前に、他の先輩がお稽古しているのを見て、いち早く手順を覚えようと、それを楽しみゲームのよう

うにしていました。ただ、興味を持ったのはそれだけではなく、茶道をする中で日本の四季を敏感に感じることができ、花の名前や、礼儀作法が本当に自然に覚えられ、禅の要素も入ってくるのも面白いと思えました。そんな私が衝撃的に思ったのが『初釜茶事』の初参加でした。

先輩の皆様と同じく綺麗な着物を着て、お正月に先生宅に行く、お稽古の時と雰囲気は全く違い、見るもの聞くものが大層美しく見えました。赤い毛氈の上で正座していると先生が出てきて、挨拶をされ、炭手前があり、懐石料理が一人分ずつ高そうな器に入ってお膳で出てくるのです。中学生の私は高級な料亭に行ったこともなく、それだけでも胸が高鳴りました。ところが、蓋付きのお椀を合図と共に開けてみるとほんの一口分の「飯とお味噌汁しか入っていないのです。私はびっくりして心中では「なんだ、家でちゃんと食べてくれれば良かった」と思いました。それでもわずかな飯を噛みしめるように味わい、味噌汁を頂きましたが、その味の美味しかったことは、未だに忘れられません。

しかしながら、その後、珍しい料理と飯、味噌汁のおかげでもきたので、最後は十二分の満足感でした。この懐石で茶人のセンスは凄いな、と子供ながらに感動しました。夕方に帰途に着きましたが、この一日の初体験が私から離れられないものになる大きな出来事でした。

大学で私は東京に行き、東京で仕事を始めても、お茶の稽古を続けていました。

それから20年後に佐賀に帰って来たのです。めぐみ園に来る5年ほど前から少しずつ茶道を人に教える始めておりましたが、こちらに伺うことで初めて障害者の方達に稽古する機会を得ることになりました。最初考えていたよりも教えるのが難しく、どうすればいいのか自分自身が悩みました。半年もすれば大体できるようになる帛紗捌きも、めぐみ園では5年経っても半数以上の方ができないのです。どうすればいいのか考え

るのですが、いい考えが浮かばず時間が過ぎました。ただ、10人のお弟子さん達はそんなことには悩みもせず、お菓子を頂くときには目を輝かせ、お茶を頂くときも『美味しい!』と言って飲むのです。本当に素直なのです。それを見ていると、こんな茶道もあつていいのかなと、考えるようになってきました。



そんな私を支える茶道部のお世話役のスタッフの方がこれまたとても良いのです。最初に小副川さん、深川さんがついてくれて、なんといい人達なのだろうと感心しました。それが数年経つとスタッフが変わるのですが、今までの方が全て良い方達でどんなに助かったことか感謝の念に堪えません。これもめぐみ園のカラーなのでしょうが、素晴らしいことです。その中で自分の好きに茶道を楽しむことができます。この生徒さん達はとても恵まれています。いつもお稽古に来て私が来るのを楽しみに待っていてくれる10人の生徒さんの笑顔は私を奮い立たせてくれます。10年前からずっと同じ「盆路点前」を繰り返して稽古していて、次のステップに移れないことに私は心の中では皆さんに申し訳なく思っていますが、これで良いのかも……。きつと私が茶道の何かに魅せられたように、このお弟子さん達も茶道の魅力を個々人で発見しているのではないのでしょうか。そういう期待を込めて、これから茶道を通して皆さんと触れ合っていきたいものと思

っています。お正月での私の自宅での初釜、4月の野点、時に行う和菓子作りなど、これからも園の皆さんと楽しい行事をしていき、日本人として生まれてきた私達の人生に彩りを添えていきたく、精進して参ります。皆様、これからもどうぞ宜しくお願い!



◎会費納入ありがとうございます

ごさいました。

平成31年4月22日現在

(敬称略)

- 西村紀夫、小ヶ倉寛、古川美津子
- 北島 啓、栗林恵一・扶貴、江頭嘉子
- 株式会社 永池、長峰陽子、納富勇次
- 楠 満、堤 敦子、中島直樹
- 中村昌平、副島 勉・純子、山口貞雄
- 山領昭子、村岡 洋、多良勝利
- 山口勝正2名、田中国代、福島龍一
- 岩田寛剛、松本次雄、野中憲子
- 栗林久美子・裕幸、栗林康之・三枝子
- 九州食品株式会社、梅本隆司・富美子
- ながせ皮膚科、島田折枝、梅野勝子
- 松藤範幸、池田治夫、メグミルク八谷
- 柿木啓子、大崎茶舗、大屋庫三
- 原口 弘・久美・恭典・弘二朗
- 吉原郁子、森田紀男、武下正文
- 諫山輝子、田代裕明、武久好光
- 大金通浩、内川商事、市丸俊文
- 十時忠秀・やよい、山崎圭子
- 鶴池咲智子、徳永尚子、金武妙子
- 瀬戸口昭子、小淵八千子、村山澄子
- 山口洋子、釘尾末子、光岡悦子
- 市丸眞子、岡 梅子、江川秀子
- 吉田幸子

◎寄付ありがとうございます

ごさいました。

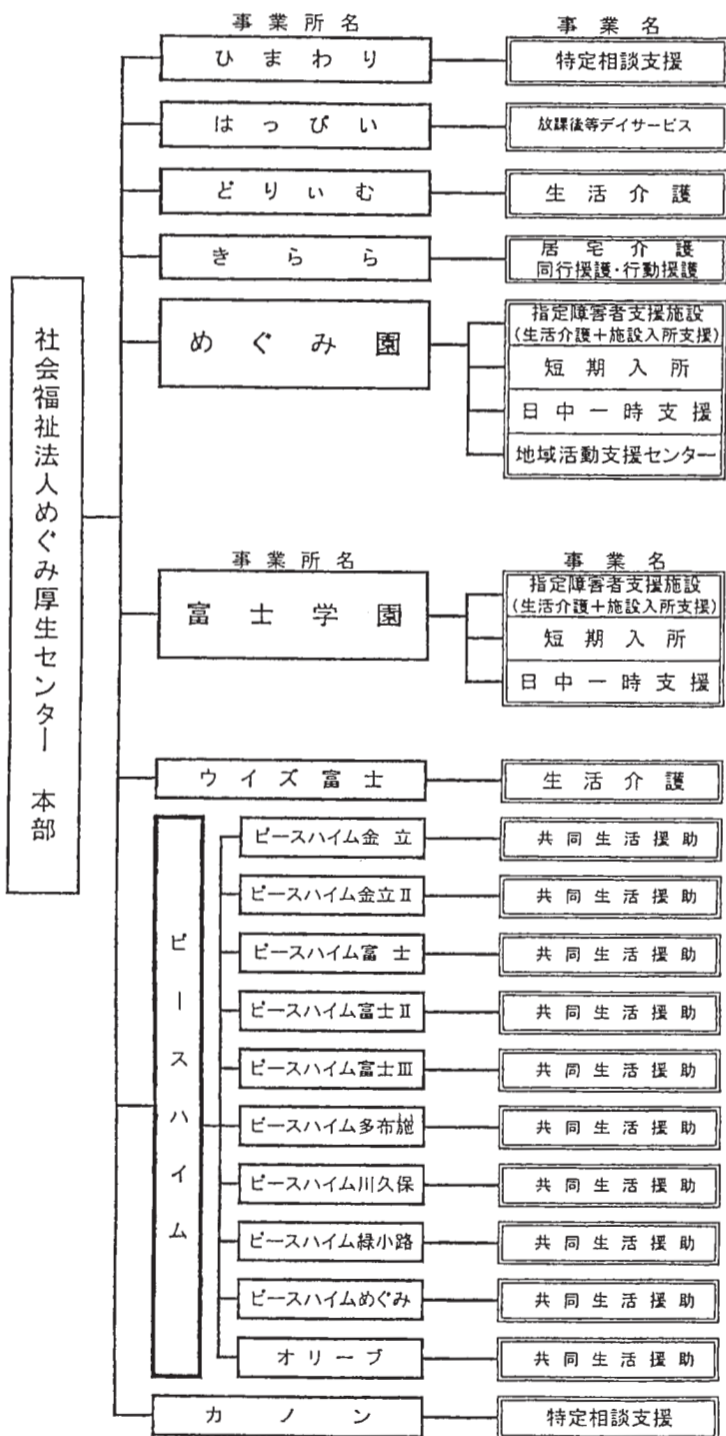
平成31年4月22日現在

(敬称略)

- 小ヶ倉寛、楠 満、副島 勉
- 福島龍一、松本次雄、栗林久美子
- ながせ皮膚科 永瀬浩一
- 市丸俊文、堤 敦子、十時忠秀



2019年度 厚生センター概要



恵友会視察研修のお知らせ

希望の方は5月31日までに事務局  
までご連絡下さい!



日時：2019年6月11日(火)  
場所：社会福祉法人 慈光会 「あすなろの里」  
時間：10時30分～15時 施設見学・会員交流

「あすなろの里」のご紹介

1984(S59)年、知的障害者支援施設「あすなろの里」開所  
2019年現在、佐賀県西松浦郡有田町を中心に以下の事業  
を展開されています。

- 就労活動支援(B型)事業所「やきものの里」
- 共同生活介護事業所「楠風の里」「青雲の里」
- 特別養護老人ホーム「それいゆホームズ」「りんでんホームズ」
- 小規模多機能型居宅介護・短期入所・通所介護
- 高齢者マンション等の事業

= 恵友会 趣旨 =

【趣旨】

恵友会は、後述の会則に掲げる目標をもって昭和56年に後援会として発足し、めぐみ厚生センターの創立者の意を受け継ぐために、現代が求める開かれた施設、地域に密着した施設づくりに目を向けめぐみ厚生センターをサポートします。

【会則】(抜粋)

[第3条]

本会は社会福祉法人めぐみ厚生センターの事業に賛同し、その運営、発展及び、利用者の福祉向上を援助することを目的とする。

[第4条]

本会は前条に掲げる目的を達成するため、次事業を行う。

- 1, 利用者とのふれあい活動
- 2, めぐみ厚生センターの属する施設に於ける奉仕活動
- 3, めぐみ厚生センターの運営並びに施設設備に対する経済的援助
- 4, その他、本会の目的達成に必要な事業

[第5条]

本会の会員は、知的障害児者を正しく理解し本会の目的に賛同する者をもって構成する。



☆ゆりかごから天国まで☆

☆共に生きる ~ live together ~ ☆

☆愛する者たち、互いに愛し合ひましよう☆